

令和7年度

実施設計書

審査 設計者

工事番号
(設計書コード)

37 - FE250 - 09 - 01 - 11

建設工事名

令和7年度（債務）市道3地区359号線（駅前一丁目・田沼一丁目）道路整備工事

路線河川名

市道3地区359号線

建設工事箇所

藤枝市 駅前一丁目・田沼一丁目 地内

建設工事金額

工 期

令和8年6月30日限り

週休2日推進工事補正（補正なし）

建設工事概要	施工延長	79	m
	アスファルト舗装工	343	m ²
	道路付帯物工	1	式
	区画線工	1	式

歩掛・単価適用年度

令和7年12月

基本単価

令和7年12月

地区コード

220 地区

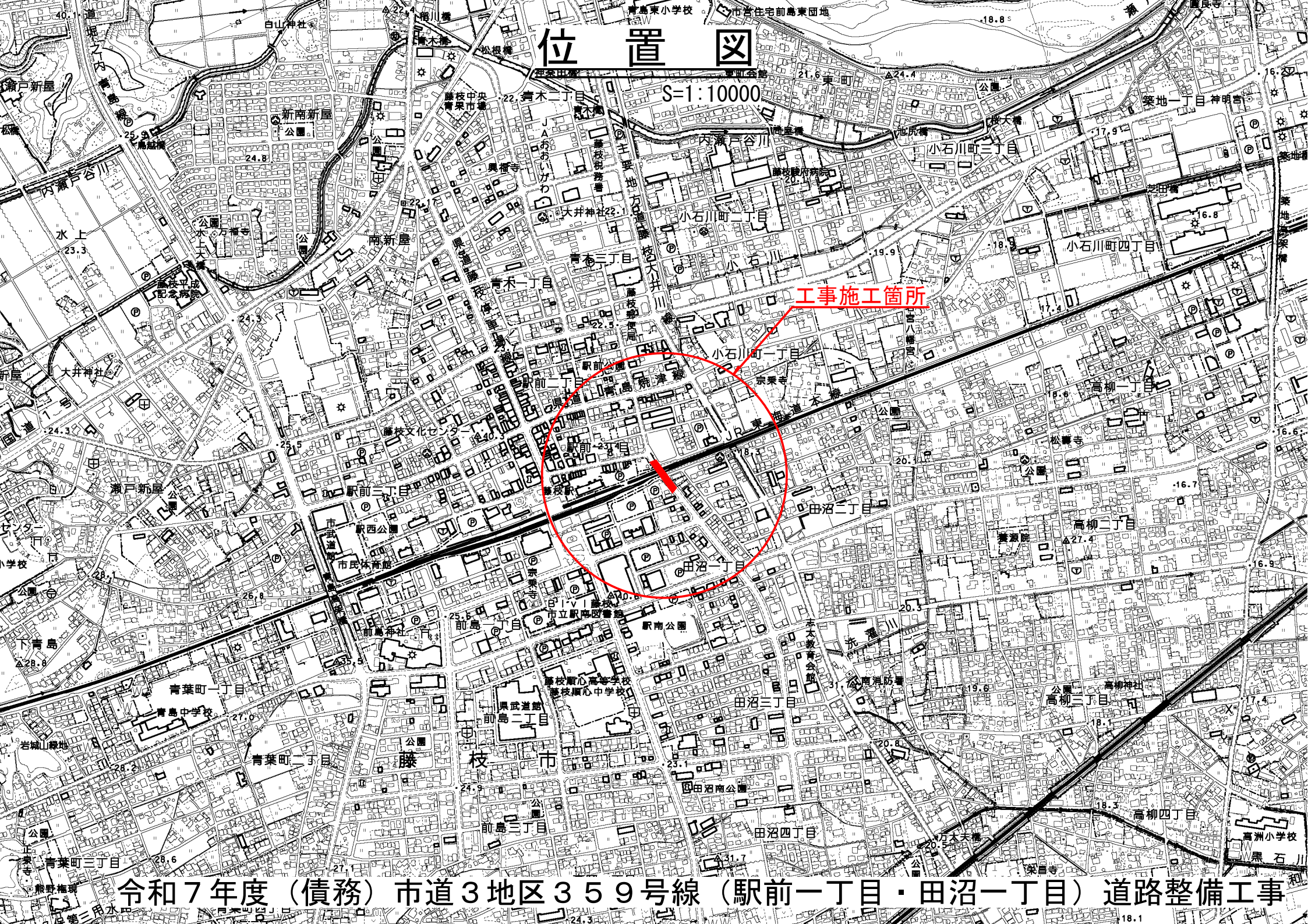
起 終 点 指 定

3 + 0 . 0 0

⇔

6 + 1 9 . 0 0

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である



位置図

S=1:10000

工事施工箇所

令和7年度(債務)市道3地区359号線(駅前一丁目・田沼一丁目)道路整備工事

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 舗装					
	式	1			
-- 道路土工					
	式	1			
--- 掘削工					
	式	1			
---- 掘削					
	m 3	1 0			SP 1号表 労補 1号表 数量コードMCR
--- 残土処理工					
	式	1			
---- 残土運搬・処理					M0009
	m 3	1 0			第2種建設発生土 土量変化率（礫質土）L=1.20 第 1号表 労補 2号表 数量コードZ10
-- 舗装工					
	式	1			
--- アスファルト舗装工					
	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 上層路盤(車道・路肩部)	m ²	343			SP 3号表 労補 3号表 数量コードJR
---- 表層(車道・路肩部)	m ²	343			SP 4号表 労補 4号表 数量コードAS
-- 構造物撤去工	式	1			
--- 構造物取壊し工	式	1			
---- 舗装版切断	m	37			SP 5号表 数量コードHS
---- 舗装版破碎	m ²	340			SP 6号表 労補 5号表 数量コードHH
--- 運搬処理工	式	1			
---- 濁水運搬処理	式	1			M0010
---- アスファルト殻運搬・処分	m ³	24			第 2号表 M0011 数量コードAs

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-- 区画線工	式	1			
--- 区画線工	式	1			
---- 区画線	式	1			M0008
-- 道路付属施設工	式	1			第 5号表
--- 道路付属物工	式	1			
---- 踏切道内誘導表示設置	m	18			M0001 見積 第 10号表 数量コードBAP
---- ゴムチップシート設置	m	5			M0007 見積 第 14号表 数量コードGT
---- 視覚障害者誘導プレート設置 200枚以上 インターロッキング舗装	m ²	9			M0006 踏切外 見積 第 15号表 数量コードtg
---- 視覚障害者誘導プレート設置 踏切道付近	m ²	3			M0019 見積 第 16号表 数量コードTG

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
- - 仮設工	式	1			
- - - 交通管理工	式	1			
- - - - 交通誘導警備員	式	1			踏切道内誘導表示施工時（交代要員含む） 第 17号表
- - - - 交通誘導警備員	式	1			視覚障害者誘導プレート・舗装版切断・区画線（交代要員含む） 第 18号表
- - - - 交通誘導警備員	式	1			舗装工（交代要員含む） 第 19号表 労補 7号表
直接工事費計					
工種区分 No. 6 舗装工事					
共通仮設費 (市街地（DID補正）（1）- 1）	式	1			
安全費 保安対策費	式	1			M0012 第 20号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費計					
純工事費計					
現場管理費 (市街地 (DID補正) (1) - 1)	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

道路土工

数量計算表

測点間距離 20 m

測点 中間点 距離(m)			コ メ ン ト			MCR	機械掘削		
						数 量	平均値	立積 (0 6)	
3	+0.00	0.00				0.53			
3	+5.61	5.61				0.53	0.500	2.800	
4	+5.65	20.04				0.55	0.500	10.000	
合	計	25.65					(MCR)	12.800	

延長計算表

数量計算名称	コード	起 点 測 点 中間点	終 点 測 点 中間点	数 量(m)
施工延長 測点間距離 20 m	L (03)	3 +0.00	6 +19.00	79.00
合 計				79.00

舗装工

数 量 調 整 表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
表層	A S (1 1)	=	342.86
		=	342.900
		
上層路盤	J R (1 1)	=	AS
		=	342.9
		=	342.900

区画線工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
ゼブラ	Z B R (0 8)	$= 23.35 + 26.0 + 10.4$ $= 59.800$		
矢印	Y (0 8)	$= 13371.54 / 15 * 2 / 100 * 1.2$ $= 21.400$		
停止線	W 4 5 (0 8)	$= 2 * 2$ $= 4.000$		
外側線	W 1 5 (0 8)	$= 24.9 + 6.9 + 20.4 + 20.0$ $= 72.200$		
車線境界線	w 1 5 (0 8)	$= 17.9 + 18.2$ $= 36.100$		

構造物撤去工

数 量 調 整 表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
舗装版切断	H S (0 8)	$= 25.6 + 5 + 6.4$ $= 37.000$ $-----$
濁水处理	D S (0 5)	$= H S * 0.023 * 0.12$ $= 37 * 0.023 * 0.12$ $= 0.102$ $-----$
舗装版破碎	H H (0 8)	$= A S$ $= 342.9$ $= 342.900$ $-----$
アスファルト殻	A s (0 2)	$= (H H - 57.56 - 18.16 - 18.75) * 0.05 + (57.56 + 18.16 + 18.75) * 0.12$ $= (342.9 - 57.56 - 18.16 - 18.75) * 0.05 + (57.56 + 18.16 + 18.75) * 0.12$ $= 23.800$

道路付属物工

数 量 調 整 表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
点字プレート（踏切）	T G （ 0 2 ）	= 3.06 = 3.100
点字プレート（歩道）	t g （ 0 2 ）	= 11.78 - TG = 11.78 - 3.1 = 8.700
踏切道内誘導プレート	B A P （ 0 2 ）	= 18 = 18.000
下地処理	S S （ 0 2 ）	= 6.594 = 6.600
ゴムチップシート	G T （ 0 2 ）	= 2.5 * 2 = 5.000

残土処理工			
土 量 調 整 表			
** 発生土登録表 **	** (発生土→埋戻土→盛土) 流用表 **	** 残土処理場指定表 **	** 残土処理容量指定 **
発生土 変化率	発生土 - - - - 流用順位 - - - -	発生土 処理順位	
MCR 13 0.90		MCR 1 番目 Z10 13 → 13	Z10 99,999
			** 残土量合計 **
			Z10 13

MOOO9		残土運搬・処理		第 1号表		(労務費補正表参照)
金 円 100 m3 当り		第2種建設発生土 土量変化率(礫質土) L=1.20				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬		m3	100			SP 2号表
残土処分費 駿遠開発事業(株) 牧之原市切山字真菰沢605		m3	120			
計						
単価		m3				

MOO10 濁水運搬処理 第 2号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬 (D1D区間あり) 運搬距離: 30.0km以下	台	1			第 3号表
処分費 アスファルトカッター汚泥	m3	0.102			7-セリヤル(株)麻機工場 静岡市葵区北2242-129 数量コードDS
計					

トラック運搬 (D I D区間あり) 運搬距離：30.0 km以下						第 3号表
金 円		1 台 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬 2 t積		時間				
諸 雑 費		式	1			
計						

MOO11		アスファルト殻運搬・処分				第 4号表	(労務費補正表参照)
金	円	1 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
殻運搬		m3	1			SP 7号表	
処分費 As塊		m3	1			t12/商事(株)藤枝工場 藤枝市稲川字大下891-2	
計							

MOO08 区画線					
第 5号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置〔熔融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白	m	72			第 6号表 数量コードW15
区画線設置〔熔融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白	m	36			第 6号表 数量コードw15
区画線設置〔熔融式手動〕 実線 45cm 塗布厚1.5mm 白	m	4			第 7号表 数量コードW45
区画線設置〔熔融式手動〕 ゼブラ 45cm 塗布厚1.5mm 白	m	60			第 8号表 数量コードZBR
区画線設置〔熔融式手動〕 矢印・記号・文字 15cm換算 塗布厚1.5mm 白	m	21			第 9号表 数量コードY
計					

区画線設置〔熔融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白					
第 6号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 実線 15cm 時間的制約 無 機・労					1
	m	1,000			標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
補正後標準単価					
	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15～18% 白 比重2.0					2
	kg	570			
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106～0.850mm					2
	kg	25			
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9					2
	kg	25			
軽油 パトロール給油					2
	l	40			
諸雑費					
	%				
計（合計金額対象外は除く）					

第 6号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
単価	m				

区画線設置〔熔融式手動〕 実線 45cm 塗布厚1.5mm 白					
第 7号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 実線 45cm 時間的制約 無 機・労					1
	m	1,000			標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
補正後標準単価					
	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15～18% 白 比重2.0					2
	kg	1,700			
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106～0.850mm					2
	kg	75			
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9					2
	kg	75			
軽油 パトロール給油					2
	l	73			
諸雑費					
	%				
計（合計金額対象外は除く）					

第 7号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
単価	m				

区画線設置〔溶融式手動〕 ゼブラ 45cm 塗布厚1.5mm 白					
第 8号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工 〔溶融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 ゼブラ 45cm 時間的制約 無 機・労					1
	m	1,000			標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
補正後標準単価					
	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 溶融 ガラスビーズ含有量15～18% 白 比重2.0					2
	kg	1,700			
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106～0.850mm					2
	kg	75			
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9					2
	kg	75			
軽油 パトロール給油					2
	l	89			
諸雑費					
	%				
計（合計金額対象外は除く）					

第 8号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
単価	m				

区画線設置〔熔融式手動〕 矢印・記号・文字 15cm換算
塗布厚1.5mm 白

第 9号表

金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 矢印・記号・文字 15cm換算 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15～18% 白 比重2.0	kg	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106～0.850mm	kg	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	kg	25			2
軽油 パトロール給油	l	100			2
諸雑費	%				
計（合計金額対象外は除く）					

第 9号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
単価	m				

M O O O 1					
踏切道内誘導表示設置					
第 10号表					
金	円	18 m 当り	見積		
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
材料費					M0018
				式	1
特殊作業員					第 11号表
				人	1
普通作業員					1
				人	
ダンプトラック 2t車 燃料含む				台・日	4
諸雑費					
				%	
計					
単価					
				m	

MO018

材料費

第 11号表

金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
材料費 踏切道内誘導表示プレート		m	18			M0003 見積 第 12号表 数量コードBAP
材料費 踏切内ゴム舗装下地処理及び塗布		m	7			M0005 見積 第 13号表 数量コードSS
計						

MO003 材料費 踏切道内誘導表示プレート 第 12号表					
金	円	10 m 当り	見積		
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
踏切道内誘導表示プレート 375mm×150mm	枚	34			ロス率25%含む
踏切道内誘導表示プレート専用接着剤	kg	10.542			使用量: 0.313kg/枚
踏切道内誘導表示プレート 375mm×320mm	枚	34			ロス率25%含む
踏切道内誘導表示プレート専用接着剤	kg	22.814			使用量: 0.671kg/枚
計					
単価	m				

MOOOS					
材料費 踏切内ゴム舗装下地処理及び塗布					
第 13号表					
金	円	5 m 当り	見積		
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アセトン 踏切道内誘導表示プレート 375mm×150mm用	k g	0.196			使用量: 0.014k g /枚
ゴム用プライマー 踏切道内誘導表示プレート 375mm×150mm用	k g	0.196			使用量: 0.014k g /枚
ゴム用中間補強材 踏切道内誘導表示プレート 375mm×150mm用	k g	3.92			使用量: 0.28k g /枚
アセトン 踏切道内誘導表示プレート 375mm×320mm用	k g	0.42			使用量: 0.003k g /枚
ゴム用プライマー 踏切道内誘導表示プレート 375mm×320mm用	k g	0.42			使用量: 0.003k g /枚
ゴム用中間補強材 踏切道内誘導表示プレート 375mm×320mm用	k g	8.4			使用量: 0.6k g /枚
計					
単価	m				

MOOO7 ゴムチップシート設置					
第 14号表					
金	円	1 m 当り	見積		
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ゴムチップシート 500mm×900mm、t=6mm	枚	1.1			
下地接着剤	kg	0.16			
下地補正剤	kg	2.5			
特殊作業員	人				1
普通作業員	人				1
ダンプトラック 2t車 燃料含む	台・日	0.5			
諸雑費	%				労務費の5%
計					

M O O O 6					
視覚障害者誘導プレート設置 200枚以上 インターロッキング舗装					
第 15号表					
金 円 18 m2 当り 見積					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
樹脂プレート 点字樹脂プレート 300mm×300mm	枚	200			1
アクリル樹脂接着剤	k g	70			1
土木一般世話役	人				1
特殊作業員	人				1
普通作業員	人				1
機械賃料・損料等	%				
計					
単価	m2				

MOO19 視覚障害者誘導プレート設置 踏切道付近						第 16号表
金	円	3.06 m2 当り	見積			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
樹脂プレート 点字樹脂プレート 300mm×300mm	枚	34				
アクリル樹脂接着剤	kg	11.9				
特殊作業員	人				1	
普通作業員	人				1	
ダンプトラック 2t車 燃料含む	台・日	2				
諸雑費	%					
計						
単価	m2					

交通誘導警備員					
第 17号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B					7日、3人
	人	21			
計					

交通誘導警備員					
第 18号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B					3日、3人
	人	9			
計					

交通誘導警備員					
第 19号表 (労務費補正表参照)					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B					4日、5人
	人	20			
計					

MOO12						安全費 保安対策費	第 20号表
金	円	1 式 当り			見積		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
踏切道内誘導表示設置							
工事管理者		日				昼間	
工事管理者 (保安担当)		日				昼間	
列車見張員		日				昼間	
施工日打合せ 工事管理者×0.5/日		日				昼間	
舗装工事							
工事管理者		日				夜間	
工事管理者 (保安担当)		日				夜間	

MOO12					
第 20号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
列車見張員	日				夜間
施工日打合せ 工事管理者×0.5/日	日				昼間
計					

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
掘削	土質＝土砂，施工方法＝上記以外（小規模），施工数量＝標準以外 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土） （労務費補正表参照）	SP 1号表
土砂等運搬	土砂等発生現場＝小規模，積込機種・規格＝バックホウ山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ），土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む），DID区間の有無＝有り，運搬距離＝17.0km以下 （労務費補正表参照）	SP 2号表
上層路盤（車道・路肩部）	材料＝粒度調整碎石 選択，施工区分＝1層施工 ＊全仕上り厚＝120mm，&路盤材規格＝粒度調整碎石（M-30） （労務費補正表参照）	SP 3号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝3.0m超，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（13） A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝50mm，&瀝青材料規格＝プライムコートPK-3 （労務費補正表参照）	SP 4号表
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝15cm以下	SP 5号表
舗装版破碎	舗装版種別＝アスファルト舗装版，障害等の有無＝無し，騒音振動対策＝必要（圧砕機使用），舗装版厚＝15cm以下，積込作業の有無＝有り （労務費補正表参照）	SP 6号表
殻運搬	殻発生作業＝舗装版破碎，積込工法区分＝機械積込（騒音対策不要，舗装版厚15cm以下），DID区間の有無＝有り，運搬距離（km）＝3.5km以下 （労務費補正表参照）	SP 7号表

労 務 費 補 正 表										労補	1 号表
工種・種別		交替数		1. 0	1. 5	1+0. 25 α	1. 25 α	1. 50 α	総作業	時間制約有無	
掘削		交替1		8時間 0分				8時間 0分			
作業時間		開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
交替1		22:00 - 6:00									
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称			補正前単価	補正後単価	構成比	
運転手 (特殊)											

労 務 費 補 正 表										労補	2 号表								
工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 α		1. 25 α		1. 50 α		総作業		時間制約有無			
残土運搬・処理		交替1				8時間 0分								8時間 0分					
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了							
交替1		22:00 - 6:00																	
名 称				補正前単価		補正後単価		構成比		名 称				補正前単価		補正後単価		構成比	
運転手（一般）																			

労 務 費 補 正 表										労補		3 号表							
工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 α		1. 25 α		1. 50 α		総作業		時間制約有無			
上層路盤（車道・路肩部）		交替1				8時間 0分								8時間 0分					
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了							
交替1		22:00 - 6:00																	
名 称				補正前単価		補正後単価		構成比		名 称				補正前単価		補正後単価		構成比	
特殊作業員																			
普通作業員																			
運転手（特殊）																			
土木一般世話役																			

労 務 費 補 正 表											労補		4 号表						
工種・種別			交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 α		1. 25 α		1. 50 α		総作業		時間制約有無		
表層（車道・路肩部）			交替1				8時間 0分								8時間 0分				
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		22:00 - 6:00																	
名 称				補正前単価		補正後単価		構成比		名 称				補正前単価		補正後単価		構成比	
特殊作業員																			
普通作業員																			
運転手（特殊）																			
土木一般世話役																			

労 務 費 補 正 表										労補		5 号表							
工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 α		1. 25 α		1. 50 α		総作業		時間制約有無			
舗装版破碎		交替1				8時間 0分								8時間 0分					
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了							
交替1		22:00 - 6:00																	
名 称				補正前単価		補正後単価		構成比		名 称				補正前単価		補正後単価		構成比	
普通作業員																			
運転手 (特殊)																			
土木一般世話役																			

労 務 費 補 正 表										労補	6 号表								
工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 α		1. 25 α		1. 50 α		総作業		時間制約有無			
アスファルト設運搬・処分		交替1				8時間 0分								8時間 0分					
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了							
交替1		22:00 - 6:00																	
名 称				補正前単価		補正後単価		構成比		名 称				補正前単価		補正後単価		構成比	
運転手（一般）																			

労 務 費 補 正 表										労補		7 号表							
工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 α		1. 25 α		1. 50 α		総作業		時間制約有無			
交通誘導警備員		交替1				8時間 0分								8時間 0分					
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了							
交替1		22:00 - 6:00																	
名 称				補正前単価		補正後単価		構成比		名 称				補正前単価		補正後単価		構成比	
交通誘導警備員B																			

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

交通誘導員の配置に関する特記仕様書（標準）

（交通誘導員の設計計上数量）

第1条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

（安全対策）

第2条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

（その他）

第3条 交通誘導員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導員の点呼を取り、交通誘導員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導員を適正に配置するものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

藤枝市週休2日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第1条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休2日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（6日間）、夏季休暇（3日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 現場閉所 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除く。
- (3) 現場閉所率 対象期間における現場閉所日数の割合（現場閉所日数／対象期間日数）で算定する。現場閉所率が28.5%以上の場合を4週8休以上とする。
- (4) 週休2日 対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (5) 完全週休2日（土日） 対象期間のすべての週において、現場閉所を土日に指定し、1週間に2日以上現場閉所を行ったと認められる状態をいう。ただし、受発注者間の事前協議により、予めこれに代わる定休日を設定できるものとする。
- (6) 月単位の週休2日 対象期間の全ての月において、週休2日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (7) 通期の週休2日 対象期間の現場閉所率が28.5%以上の状態をいう。

（費用の計上）

第3条 週休2日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休2日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第4条 週休2日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに現場閉所計画表を監督員に提出し、これに基づき施

工を行う。なお、受注者の責めに帰すことができない理由により実施が困難な場合には、対象期間開始前に受発注者間協議を行うこととする。

- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更の現場閉所計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、現場閉所率について確認を行う。なお、規程の現場閉所を行ったと認められない場合には、静岡県週休2日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上による減額変更契約を行うものとする。

（工期設定の条件）

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
- (3) 地域の事情 () 日
- (4) 自然条件 () 日
- (5) その他 () 日

令和7年度（債務）市道3地区359号線（駅前一丁目・田沼一丁目）道路整備工事

特記仕様書

第一条 適用範囲

1. 本仕様書は、「令和7年度（債務）市道3地区359号線（駅前一丁目・田沼一丁目）道路整備工事」（以下「本工事」という。）に適用する。
2. 本工事は、「道路の移動等円滑化に関するガイドライン（令和6年1月改定）」に準拠し、視覚障害者誘導プレート及び踏切道内誘導表示の設置並びに舗装工事を実施するものである。
3. 特に本工事は、東海旅客鉄道株式会社（以下「鉄道事業者」という。）の在来線営業線に近接して施工を行うため、「営業線工事保安関係標準示方書（在来線：施設）」（以下「保安示方書」という。）の適用を受ける工事とする。

第二条 工事目的

本工事は、視覚障害者等の安全な移動を確保するため、田沼街道踏切内およびその付近区間において、踏切道内誘導表示および視覚障害者誘導プレートの設置と舗装改良を行うものである。これにより、令和4年に発生した視覚障害者の踏切事故を踏まえた安全対策を実施し、すべての利用者にとって安全な通行環境の確保を目的とする。施工にあたっては鉄道事業者との協議を行い、列車運行の安全確保を最優先に実施すること。

第三条 工事概要

工 事 名： 令和7年度（債務）市道3地区359号線（駅前一丁目・田沼一丁目）道路整備工事
工事場所： 静岡県 藤枝市 駅前一丁目・田沼一丁目 地内（東海道本線 200k012m 付近田沼街道踏切）
発 注 者： 藤枝市役所 都市建設部 基盤整備局 道路課
施工延長： L = 7 9 . 0 m
工 種： アスファルト舗装工 A = 3 4 3 m²
道路付帯物工 N = 1 式
区画線工 N = 1 式
工 期： 令和8年1月～令和8年6月

第四条 施工条件（保安示方書による特記）

1. 鉄道近接工事共通事項（舗装工・道路付帯工含む）
 - (1) 施工にあたり、保安示方書に基づく資格を有する工事管理者及び列車見張員等を現地に配置すること。
工事管理者は鉄道事業者が認定する工事管理者資格を、列車見張員は列車見張員資格を有する者とする。なお、配置人数や配置箇所等は、別途鉄道事業者の指示に従うこと。不在の場合は工事を一時中止し、列車接近時及び通過時には作業を中断すること。

- (2) 施工にあたり、施工計画書を提出し、鉄道事業者の確認を受けたうえで実施すること。また、施工計画書には、保安示方書に基づき当該工事に従事する保安関係者及び具体的な確認事項を記載した「覚書（営業線近接工事）」及び保安関係者の資格認定証の写しを添付すること。
- (3) 施工にあたり、保安示方書に定める施工打合せ票に基づき、日々の工事内容等について鉄道事業者と打合せを行い、列車の安全運行のための指示を受けること。
- (4) 前項において、鉄道事業者から受注者（現場代理人等）へ直接指示があった場合は、発注者への指示とみなして直ちに従うこと。
- (5) 施工にあたり、保安示方書に明記された列車防護用具を常備し、保管責任者を定めること。
- (6) 施工にあたり、保安示方書に明記された列車防護手順を、作業員全員に周知徹底させること。

2. 踏切道内施工時の特記事項

- (1) 踏切道内及び鉄道事業者の鉄道敷地内において、仮設物・資機材の飛散や置き忘れ防止対策を講じること。踏切鳴動時には事前に踏切道内の安全を確認し、列車運行に支障がないようにすること。
- (2) 踏切道内施工時には誘導員等を配置し、車両及び歩行者の通行を妨げないように誘導すること。また、踏切道内に車両・歩行者が滞留しないようにすること。
- (3) 踏切道に設置された障害物検知装置を支障することがないように注意して施工すること。

第五条 使用材料・施工

1. 事前調査及び施工図等の作成

- (1) 受注者は、施工に先立ち現地調査を実施し、既設構造物（点字ブロック、マンホール、側溝等）の位置、踏切道内の状況、建築限界等を詳細に把握すること。
- (2) 調査結果に基づき、視覚障害者誘導用プレート及び踏切道内誘導表示の詳細な配置図（割付図）を作成し、監督員に提出すること。
- (3) 配置図の作成にあたっては、誘導の連続性、視認性、及び鉄道施設との離隔確保に十分留意すること。また、施工上の疑義については事前に監督員と協議すること。

2. 視覚障害者誘導用プレート

(1) 材質・形状

アクリル系樹脂、無鉛タイプとする。JIS T 9251 に適合する 300mm×300mm の工場成型品を用い、現場成型品は用いないこと。

(2) 色調 ISO 3864-1 の safety yellow（黄橙色系：セーフティイエロー）を原則とすること。

(3) 接着・施工

接着剤は製造者指定品とし、その仕様書に従うこと。気温 10℃未満ではプレートの加温等により柔軟化して施工し、0℃未満または凍結時は施工を行わないこと。接着剤塗布後は全面圧着し、押し出された接着剤は外縁部をテーパー、内縁部（プレート間目地）は平滑に均すこと。30分～1時間養生後に開放すること。プレート縁は養生テープ等で保護し、汚損を防止すること。舗装との不整合が生じないように留意すること。

(4) 性能

すべり抵抗値：湿潤時 BPN55 以上（試験方法：JIS A 1454）

耐摩耗性：摩耗減量 200mg 以下（試験方法：JIS A 1453 または同等）

圧縮強さ：0.80kN/cm²以上（参考規格：JIS A 5371）

耐候性：促進耐候性試験 500 時間後に異常がないこと（試験方法：JIS K 7350-2）

（5） 例示品

大光ルート産業株式会社「アイリード」又は同等以上の性能を有するものとする。同等品を使用する場合は、事前に発注者へ製品資料（JIS 適合・試験成績書等）を提出し、確認を受けること。

3. 踏切道内誘導表示

（1） 材質・形状

屋外舗装上に適用可能なプレート式誘導表示とし、十分な強度、耐久性、耐摩耗性を有し、湿潤時においても滑りにくいものとする。下地（アスファルト、コンクリート、合成ゴム製踏切板、木材等）に適合する工場成型品を用い、現場成型品は用いないこと。

（2） 色調

白色および黄色の組合せを基本とすること。着色範囲は、標準構成（歩道部幅員が概ね 2m 以上）の場合、黄色部 75mm、白色部 320mm を基本とすること。狭幅構成（同 2m 未満）の場合、黄色部は 150mm 以上とし、設置面との識別性が確保できるよう調整すること。設置面との識別性が不足する場合は、縁取り等により明度対比を確保すること。

（3） 接着・施工

ア 共通

接着剤は製造者指定品とし、その仕様書に従うこと。気温 10℃未満ではプレートの加温等により柔軟化して施工し、0℃未満または凍結時は施工を行わないようにすること。

イ コンクリート軌道

下地を乾燥・清掃し、所定位置を明示したうえで必要範囲をマスキングすること。接着剤は規定比率で混合し、所定塗布量・オープンタイムを守って均一に塗布すること。プレートは基準線に合わせて圧着し、端部はテーパー仕上げとすること。仕上げ完了後、マスキングを撤去し、所定時間の硬化養生を行うこと。

ウ ゴム軌道

設置範囲の清掃・位置出しを行い、必要に応じプレートの事前加工で合わせを取る。表面の油分・離型剤等を確実に除去し脱脂したうえで、ゴム基材に適合するプライマーを均一に塗布すること。付着性・せん断耐性の確保が必要な箇所は、製造者が指定する中間補強材を併用し、段階的な養生を経てから接着工程に進むこと。接着剤は規定比率で混合し、所定塗布量・オープンタイムを守って塗布、位置合わせ後に全面圧着すること。養生は段階的に実施し、各工程の養生材は指示に従って撤去すること。

（4） 性能

すべり抵抗値：湿潤時 BPN55 以上（試験方法：JIS A 1454）

耐摩耗性：摩耗減量 200mg 以下（試験方法：JIS A 1453 または同等）

圧縮強さ：0.80kN/cm²以上（参考規格：JIS A 5371）

耐候性：促進耐候性試験 500 時間後に異常がないこと（試験方法：JIS K 7350-2）

（5） 設置

一方の遮断かんから他方の遮断かんまでの区間に連続して設置すること。踏切道手前部に設ける線状誘導プレ

ートの中心線と踏切道内誘導表示の中心線は直線的に一致させること。踏切道手前部に設ける点状プレートとは約 50cm の隙間を設け、連続的に接続しないこと。誘導方向の屈曲は原則として踏切道外で行い、踏切道内で大きな屈曲を生じさせないこと。歩道部の有効幅員が狭く、車椅子使用者が誘導表示を回避しにくい場合は、狭幅構成を採用できるものとする。鉄道施設の建築限界に抵触しないよう、事前に位置・高さ・離隔を確認すること。

(6) 例示品

信号器材株式会社「ボン・アシストプレート」踏切道内誘導表示用タイプ又は同等以上の性能を有するものとする。同等品を使用する場合は、事前に発注者へ製品資料（試験成績書、適合証明等）を提出し、確認を受けること。

第六条 その他

1. 本特記仕様書に定めのない事項は、【最新版】土木工事共通仕様書及び関係法令等による。
2. 安全管理に関する詳細は、保安示方書を優先する。

地下埋設物調査書

(令和7年度(債務)市道3地区359号線(田沼一丁目・駅前一丁目)道路整備工事)

埋設物	埋設状況			管理者	
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側
水道管	D(K)φ100 VPφ75	D(K)φ100	無し		上水道課 近藤
ガス管	本管 φ100 ※要立会				東海ガス (株)
大井川広域 水道企業団	施設管理図により無いことを確認した。				
大井川土地 改良区	施設管理図により無いことを確認した。				
N T T ケーブル	地下埋設物照会により無いことを確認した。				NDS(株)
中部電力 ケーブル	地下埋設物照会により無いことを確認した。				中部電力 パワーグ リッド(株)
下水道管	無し	無し	マンホール有 ※要立会		下水道課 遠藤

